

首都圏の空港に関する企業へのアンケート調査

**調査結果報告書**

平成 18 年 8 月

横 浜 市

## 調査の概要

### アンケート調査の目的

本調査は、首都圏を拠点として活躍している主要な企業の国際ビジネスの状況や、首都圏の空港の運用のあり方などについての意見を聞き、最終的には、本アンケート調査の集計結果を踏まえて、日本の航空行政全般を担う国土交通省に対して、働きかけを行っていくことを目的とする。

### アンケートの対象

関東地方に本社を置く資本金5億円以上の企業。

(会社四季報・春版(2006,3,31 現在)(東洋経済)から抽出)

### アンケートの方法

郵送による発送、郵送による回収

### 実施期間

平成18年6月1日～平成18年6月23日

(6月24日以降に到着した回答も集計結果に含めている)

### 発送および回収状況

発送数 2,075 社

回収数 430 社

回収率 20.7%

### 調査主体

横浜市都市経営局政策課

### 調査実施機関

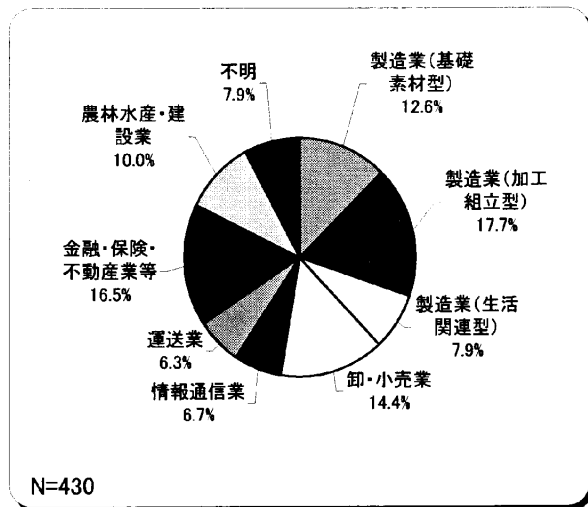
株式会社 地域環境計画

## 調査結果(要旨)

### 1 回答企業の属性

#### (1)業種

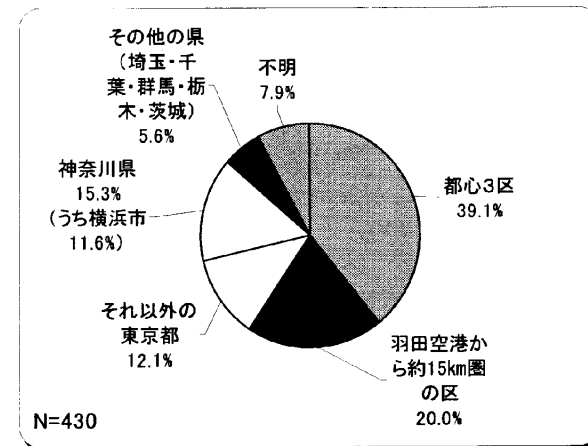
|             | 件数  | 割合<br>N=430 |
|-------------|-----|-------------|
| 製造業(基礎素材型)  | 54  | 12.6        |
| 製造業(加工組立型)  | 76  | 17.7        |
| 製造業(生活関連型)  | 34  | 7.9         |
| 卸・小売業       | 62  | 14.4        |
| 情報通信業       | 29  | 6.7         |
| 運送業         | 27  | 6.3         |
| 金融・保険・不動産業等 | 71  | 16.5        |
| 農林水産・建設業    | 43  | 10.0        |
| 不明          | 34  | 7.9         |
| 合計          | 430 | 100.0       |



※ 基礎素材型:化学、金属、鉄鋼など、加工組立型:電気、機械、輸送用機器など、生活関連型:食料品、繊維など

#### (2)所在地

|                       | 件数         | 割合<br>N=430     |
|-----------------------|------------|-----------------|
| 都心3区                  | 168        | 39.1            |
| 羽田空港から約15km圏の区        | 86         | 20.0            |
| それ以外の東京都              | 52         | 12.1            |
| 神奈川県<br>(うち横浜市)       | 66<br>(50) | 15.3<br>(11.6%) |
| その他の県(埼玉・千葉・群馬・栃木・茨城) | 24         | 5.6             |
| 不明                    | 34         | 7.9             |
| 合計                    | 430        | 100.0           |

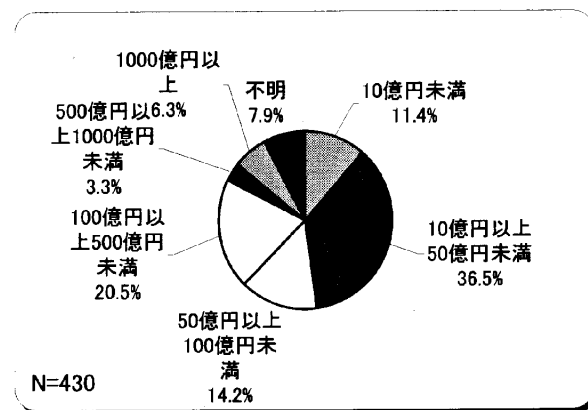


※ 都心3区:千代田区、港区、中央区

※ 羽田空港から約15km圏の区:江東区、渋谷区、新宿区、世田谷区、大田区、品川区、目黒区の7区

#### (3)資本金規模

|                 | 件数  | 割合<br>N=430 |
|-----------------|-----|-------------|
| 10億円未満          | 49  | 11.4        |
| 10億円以上50億円未満    | 157 | 36.5        |
| 50億円以上100億円未満   | 61  | 14.2        |
| 100億円以上500億円未満  | 88  | 20.5        |
| 500億円以上1000億円未満 | 14  | 3.3         |
| 1000億円以上        | 27  | 6.3         |
| 不明              | 34  | 7.9         |
| 合計              | 430 | 100.0       |



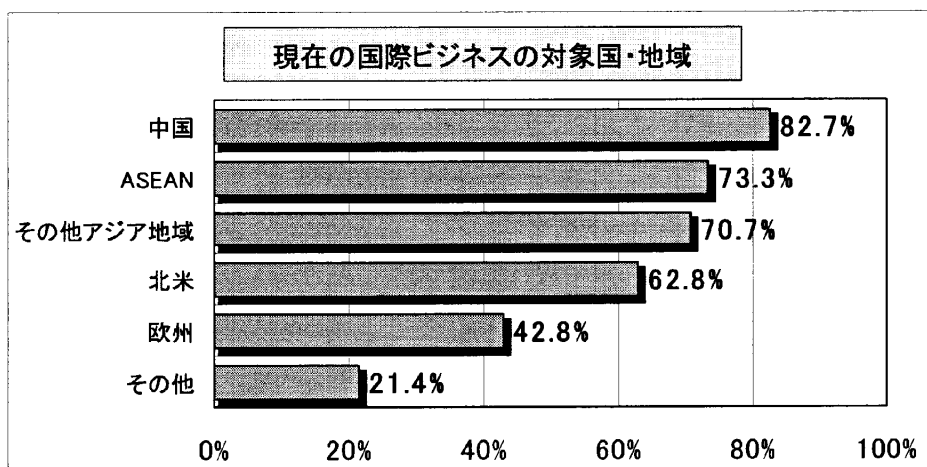
## 2 回答内容の集計

### (1) 現在の国際ビジネスの対象国・地域について

<ポイント！>

・首都圏の企業の国際ビジネス対象国は、トップが中国、次いでASEAN、その他アジア地域と続く。

国際ビジネスの対象国としては、中国が全体の82.7%と最も高く、次いで、ASEANが73.3%、その他アジア地域が70.7%となっている。首都圏の企業のビジネス対象国としては、アジア地域が非常に重要な地位を占めていると考えられる。



※ 無回答の企業及び国際ビジネスを行っていないとしている企業は集計から除外した

### <参考> 現在の国際ビジネス対象国・地域の内訳

| 地域・国         | 件数         | 割合 (%)<br>N=341 | 地域・国             | 件数         | 割合 (%)<br>N=341 |
|--------------|------------|-----------------|------------------|------------|-----------------|
| <b>中国</b>    | <b>282</b> | <b>82.7</b>     | <b>その他のアジア地域</b> | <b>241</b> | <b>70.7</b>     |
| 華北           | 147        | 43.1            | 韓国               | 191        | 56.0            |
| 華東           | 220        | 64.5            | 台湾               | 197        | 57.8            |
| 華南           | 184        | 54.0            | インド              | 72         | 21.1            |
| 内陸部          | 36         | 10.6            | <b>北米</b>        | <b>214</b> | <b>62.8</b>     |
| <b>ASEAN</b> | <b>250</b> | <b>73.3</b>     | アメリカ             | 211        | 61.9            |
| タイ           | 175        | 51.3            | カナダ              | 74         | 21.7            |
| マレーシア        | 119        | 34.9            | <b>欧州</b>        | <b>146</b> | <b>42.8</b>     |
| ベトナム         | 94         | 27.6            | <b>その他</b>       | <b>73</b>  | <b>21.4</b>     |
| シンガポール       | 148        | 43.4            |                  |            |                 |
| インドネシア       | 124        | 36.4            |                  |            |                 |

## (2)羽田空港、成田空港の課題について

<ポイント！>

・羽田空港の課題は国際線の便数と路線の種類が少ないこと、成田空港の課題は鉄道をはじめとする空港へのアクセス。

羽田空港に関しては、

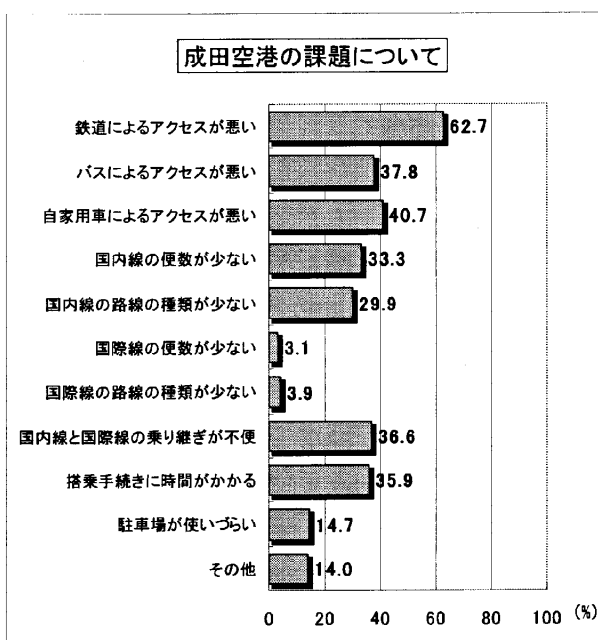
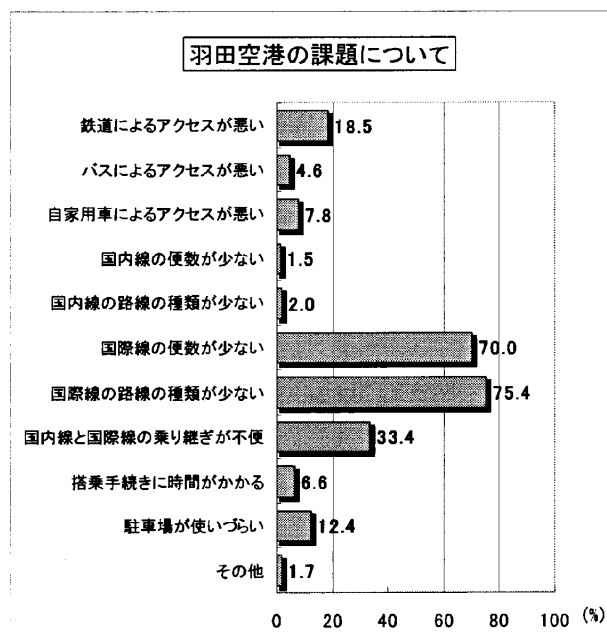
国際線の便数が少ない(70.0%)、国際線の路線の種類が少ない(75.4%)と、70%以上の企業が、国際線の現状に不満を持っている。

一方、国内線の便数が少ない(1.5%)、国内線の路線の種類が少ない(2.0%)と、首都圏の企業にとっては、国内線の更なる強化を求める声はごく少数に止まっていることが明らかとなった。

成田空港に関しては、

鉄道によるアクセスが悪い(62.7%)、バスによるアクセスが悪い(37.8%)、自家用車によるアクセスが悪い(40.7%)と、空港までのアクセスの現状に不満を持っている。

国内線の便数が少ない(33.3%)、国内線の路線の種類が少ない(29.9%)と、3割前後の企業が、国内線の現状に不満がある一方、国際線の便数が少ない(3.1%)、国際線の路線の種類が少ない(3.9%)と、首都圏の企業にとって、国際線の現状にほとんど不満を持っていないことがわかった。



### (3)羽田空港、成田空港までの現状のアクセス時間について

<ポイント！>

・羽田空港までの平均アクセス時間は約 50 分。成田空港までの平均アクセス時間は約 109 分で、概ね 1 時間の較差。

羽田空港までのアクセス時間に関しては、都心 3 区、羽田空港から 15km 圏の区、神奈川県からが、平均して 50 分以内となっており、その他の東京都が概ね 60 分、その他の県(東京都及び神奈川県以外)からは、概ね 100 分要することがわかった。全体を平均すると約 50 分であることがわかった。

成田空港までのアクセス時間に関しては、都心 3 区が約 96 分、羽田空港から 15km 圏の区が約 104 分となっており、神奈川県も含む東京都以外の県からは 130 分以上要することがわかった(千葉県は他県と同項目として集計している)。全体を平均すると約 109 分であることがわかった。

以上のことから、羽田空港へのアクセス時間と、成田空港へのアクセス時間の平均値を比較すると、 $108.5 - 50.4 = 58.1$  分となり、概ね 1 時間の較差があることがわかった。

羽田空港、成田空港までのアクセス時間(所在地別) (分)

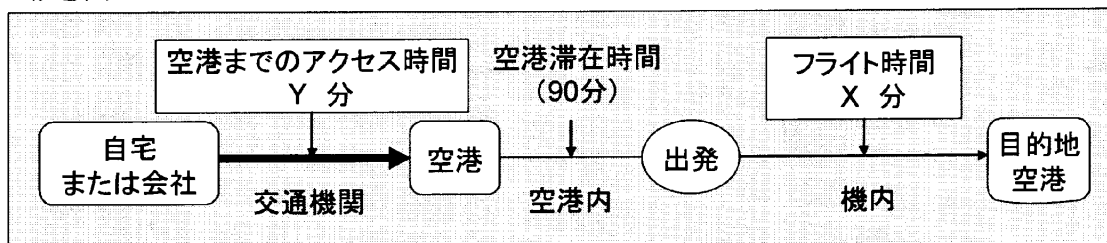
|      | 都心3区 | 羽田空港から15km圏の区 | それ以外の東京都 | 神奈川県(うち横浜市)      | その他の県(埼玉・千葉・群馬・栃木・茨城) | 不明    | 平均値   |
|------|------|---------------|----------|------------------|-----------------------|-------|-------|
| 羽田空港 | 42.4 | 44.7          | 60.6     | 48.6<br>(44.4)   | 100.6                 | 52.9  | 50.4  |
| 成田空港 | 95.9 | 103.8         | 113.4    | 130.9<br>(125.1) | 133.8                 | 104.6 | 108.5 |

較差約1時間

### (4)フライト時間と空港までのアクセス時間との関係について

国際線に搭乗する場合、フライト時間(X)が短いほど(近距離の目的地であるほど)、空港までのアクセス時間(Y)が短いことが期待されると考えられる。そこで、空港利用者が自宅または会社を出発してから空港に到着するまでに要する時間(空港までのアクセス時間)の許容可能な範囲と、航空機が出発してから目的地に到着するまでの時間(フライト時間)の関係进行调查した。

<概念図>



※ここでは、便宜上、搭乗手続き等に要する空港滞在時間を 90 分と仮定した。

(調査結果は次頁)